

麻生区区民会議 第3回 市民活動・地域活動の活性化部会 議事要旨

- 1 開催日時：平成27年2月17日（火）午後3時00分～午後4時55分
- 2 開催場所：麻生区役所第5会議室
- 3 出席者：〔専門部会委員〕
岡倉委員、高橋委員、石川委員、植木委員、小尾委員、高倉委員、林委員、宮本委員、（石井委員、横田委員は欠席）〔事務局〕 鈴木企画課長、白石、麻生〔コンサルタント〕 中島
- 4 傍聴者 0名

5 報告

- ・ふれあい子育てサポート事業等について事務局より説明。
- ・麻生区地域人材育成連絡会議の進捗状況について事務局より説明。
→会議では地域人材コーディネーターについて検討している（区民が市民活動にスムーズに入るための助言を行う人材）。あさお市民活動サポートセンター、社会福祉協議会、市民館の相談機関は組織コーディネーターとして位置づけた。
←市民館で学習相談のナビゲーターをしているが、市民団体等の情報が古い紙ベースのものもあり、実際にその団体が活動しているかどうか分からない。
- ・企画部会について部会長より説明。
→区民会議ニュース第1号の発行を予定していること、また、若者部会についての進捗状況を説明。

6 議事

- ・前回の会議の振り返り後、審議テーマの絞り込みについて審議。
- ・今までの意見を6つの項目・課題別に分けた表を元に、緊急性と必要性を軸に検討。
緊急性と必要性ともに高い課題として「地域人材の育成と人材活用」。次に「ボランティア活動の促進」。必要性が高い課題として「情報発信の環境整備」、次に「活動団体等への運営支援」。緊急性が高い課題として「シニア等の地域への参加」。
緊急性・必要性がやや高い課題として「各活動団体の相互理解」となった。
→ 最優先テーマは「ボランティアの活動の促進」。優先テーマは「情報発信の環境整備」と「シニア等の地域への参加」の2つとし、「活動団体等への運営支援」は全体に係る課題として位置付けることを確認した。
※「地域人材の育成と人材活用」は第2期の区民会議で審議されたテーマであり、それを受けて現在、市民館の地域人材育成連絡会議で検討がなされている。今回の区民会議ではメインには取り上げないが、意識すべき課題として残すこととした。

〔検討にあたっての主な意見〕

- ・有償ボランティアという単語は適当であるか。→委員間でイメージが共有できればよいのでは。
- ・優先順位の基準によると高齢者や障がい者マイノリティに関するテーマは取り上げにくいのでは。
（←区民会議委員が自らの地域の課題として捉えるのならば可能）
- ・それぞれの活動団体が共通で困っている所や、活動団体が取り組んでいない隙間を狙っていけばよいのでは。
- ・町内会等の活動もかなり範囲が広いので、既に取り組まれている分野とのバッティングは避けたい。
- ・町内会等の活動に入っている提案の形はないが、状況によっては連携の形はあると思う。
- ・高齢化、シニア世代の増加に関わる課題はどれも緊急性が高いのでは。
- ・ボランティアに自発的に来られる人は良いが外に出ない人が問題。健康寿命が短いというデメリットもある。
- ・情報発信に関しては、主体は誰か、どのように行うのかを、この辺を明確にした方がよい。
- ・活動団体の連携はやまゆりが目指して取り組んでいるところ。子どもや芸術等のテーマでイベント等を開催。
- ・やまゆりの市民活動実践入門講座の中で「ボランティアとは何か」というテーマを次回取り上げる。